

研究発表会開催通知

(昭和 63 年 11 月 15 日～12 月 31 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
情 報 シ ス テ ム	11月15日(火)	9:30～16:30	機械振興会館	前号参照
知 識 工 学 と 人 工 知 能	11月17日(木)	10:00～17:00	工業技術院筑波 研究センター	同 上
デ ー タ ベ ー ス ・ シ ス テ ム	11月17日(木)	10:30～16:30	筑 波 大	同 上
情 報 学 基 礎	11月21日(月)	13:00～17:00	機械振興会館	同 上
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	11月24日(木)	13:00～17:00	KDD 上福岡研	同 上
ア ル ゴ リ ズ ム	11月25日(金)	9:30～18:00	国際基督教大	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	11月25日(金)	13:30～17:00	機械振興会館	同 上
記 号 処 理	11月29日(火)	13:00～17:00	電 通 大	同 上
マイクロコンピュータと ワークステーション	12月1日(木)	14:00～16:15	機械振興会館	下記参照
数 値 解 析	12月2日(金)	10:00～17:00	同 上	同 上
自 然 言 語 処 理	12月6日(火)	10:00～16:30	三田国際ビル	同 上
コ ン ピ ュ ー タ と 教 育	12月8日(木)	13:00～17:00	機械振興会館	同 上
ソフトウェア基礎論 プログラミング言語 } 合同	12月9日(金)	10:00～17:30	同 上	同 上
グラフィクスと CAD	12月9日(金)	13:30～17:00	同 上	同 上
設 計 自 動 化	12月15日(木) 12月16日(金)	13:00～17:00 9:30～16:30	同 上	同 上

◆ 第 53 回 マイクロコンピュータとワークステーション研究会 (発表件数: 3 件)

(主査: 若鳥陸夫, 幹事: 岡田義邦, 森本陽二郎, 山田 剛)

日 時 昭和 63 年 12 月 1 日 (木) 午後 2 時～4 時 15 分

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, JR: 浜松町下車, バス: 渋谷ー東京タワー線東京タワー, 渋谷ー東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕

議 題 (1) マイクロコンピュータソフトウェア開発に向けた CHILL 言語処理システムの実現 佐藤規男, 大森圭祐 (NTT 通研)

〔概要〕 交換機等の大規模で複雑な組み込みシステムプログラム開発用言語 CHILL による開発環境を述べる。

(2) SA/SD ツール 掠本龍雄, 山本倫之, 久保哲也 (IPA)

〔概要〕 構造化分析手法 (SA)/構造化設計手法 (SD) に基づくシステムの分析, 設計ツールについて述べる。

(3) マイクロプロセッサ向き標準 OM/LM 形式 SY SR OF の標準化動向

神谷芳樹, 金井 敦 (NTT 通研)

〔概要〕 日本で設計し JTC-1 へ提案中の標準 OM/LM 形式 SYSROF について
考え方と標準化の状況を報告する。

◆ 第 27 回 数値解析研究会

(発表件数：6 件)

(主査：名取 亮，幹事：関口智嗣，野寺 隆，福井義成)

日 時 昭和 63 年 12 月 2 日 (金) 午前 10 時～午後 5 時
会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)
議 題 10：00～11：30 (1 件)

(1) 精度保証付き数値計算について

山本哲朗，陳 小君，菅野幸夫 (愛媛大・理)

〔概要〕 精度保証付き数値計算につき，1) 概要 (山本) 2) 中国における現状
(陳) 3) ソフト作成例と数値実験結果 (菅野) を報告する。

11：30～12：00 (1 件)

(2) 高速自動微分法と区間解析とを用いた丸め誤差推定

久保田光一，伊理正夫 (東大・工)

〔概要〕 高速自動微分法と区間解析とを組み合わせ，丸め誤差の絶対値の厳密か
つ最適な上界を計算する方法を述べる。

13：30～17：00 (4 件)

(3) 境界適合法による流体解析への非対称系 PCG 法の応用

秋葉幸範，土肥 俊 (日電)

〔概要〕 境界適合法のためのスーパーコン向き連立一次方程式解法を提案し，流体
計算により従来法との比較を行った。

(4) 半導体製造用拡散炉内の熱対流の数値シミュレーション

—ILUBCG 法の適用例として—

堀端康善 (東芝)

〔概要〕 円筒形炉内熱対流を陰的差分法で解く。非対称疎行列を係数とする連立
一次方程式の解法に ILUBCG 法を使う。

(5) D-K 法に対する半局所収束定理 山本哲朗，陳 小君 (愛媛大・理)

〔概要〕 D-K 法に対する Kantorovich 型収束定理を与える鄭士明の二論文 (科
学通報 1982，数学研究与評論 1987) を紹介する。

(6) NSG 用言語 “Mathematica” について 野寺 隆 (慶大・理工)

〔概要〕 記号処理，数値計算，グラフィクスと総合的に使用可能な言語 “Mathe-
matica” を紹介する。

◆ 第 69 回 自然言語処理研究会

(発表件数：8 件)

(主査：田中穂積，幹事：田中裕一，徳永健伸，内藤昭三)

日 時 昭和 63 年 12 月 6 日 (火) 午前 10 時～午後 4 時半
会 場 三田国際ビル アネックス (三田国際ビル横の低層の建物)
〔東京都港区三田 1-4-28，JR：田町 (三田口) 下車，徒歩 12 分，都営地下鉄：
三田線芝公園下車，徒歩 5 分。03 (456) 3194〕
10：00～12：00 (3 件)

議 題 (1) 機械翻訳における構造処理能力の評価 成田 一 (阪大・言語文化)

〔概要〕 主要機械翻訳システムの文法構造翻訳能力を同一の処理データによって

評価し問題点と解決法を提案する。

(2) 文章校正支援機能における日本語解析

小山紀子, 斎藤裕美, 小林賢一郎, 小山和雄 (東芝)

〔概要〕 文章の作成や校正を支援するための日本語解析処理について, 使用する辞書の語彙との関連を含めて述べる。

(3) 自然言語の知識獲得一語と語の関係‘が’について一

田中康仁 (姫路短大・経営情報), 吉田 将 (九工大・情報工)

〔概要〕 自然言語の解析に必要な知識データの獲得を試みた。朝日新聞記事データを基に‘が’を中心とした共起データの抽出について述べる。

13:00~16:30 (5件)

(4) 言語データベース統合管理システム

小倉健太郎, 橋本一男, 森元 逞 (ATR)

〔概要〕 RDB とオブジェクト指向表現を組み合わせ大量多様な言語情報を扱える言語データベースシステムについて述べる。

(5) 単語共起頻度を利用した形態素解析

高橋直人 (筑波大・電子)

〔概要〕 単語間の共起頻度を最尤候補決定に利用するシステムにおける速度向上のための1方法について述べる。

(6) 制約依存文法に基づいた日本語解析支援システム

渡辺日出雄, 丸山 宏 (日本 IBM)

〔概要〕 制約依存文法に基づいたパーサにより対話的に日本語解析を進めることが可能なシステムについて述べる。

(7) 英日機械翻訳システムにおける解析方式について

中瀬純夫 (カテナ・リソース研)

〔概要〕 英日翻訳システム STAR の翻訳処理メカニズム, とくにその英文解析アルゴリズムについて概説する。

(8) 第26回計算言語学会年次大会報告

小暮 潔, 野垣内出, 前田広幸 (ATR)

〔概要〕 6月7日~10日にバッファローで開催された第26回計算言語学会年次大会について報告する。

◆ 第3回 コンピュータと教育研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 有山正孝, 幹事: 大槻説乎, 雨宮幸雄, 竹谷 誠)

日時 昭和63年12月8日(木)午後1時~5時

会場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)

議題 (1) 大学文科系における情報処理教育 常盤洋一 (佐賀大・経済)

〔概要〕 大学文科系における独自の専門的な情報処理教育の必要性を論じ, 問題点を整理して教育方法の一例を提示する。

(2) システムエンジニアの適性について

外島 裕 (人材開発情報センター), 松田浩平 (豊橋短大)

〔概要〕 システムエンジニアの適性を推測する一環として, 適性検査の作成を試みた。知的な側面と情意的側面とで把握する。

(3) 教育用ソフトウェアシステム ESS

真田克彦, 三仲 啓, 遠矢 守 (鹿児島大・教育)

園屋高志 (鹿児島女子大・文)

〔概要〕 収集した教育用ソフトを部品化し利用しやすい形に再編集するためのシステム ESS について報告する.

(4) オンラインシステム技術者養成のための情報処理教育について

河村一樹 (日本電子専門学校)

〔概要〕 オンラインシステムの構築ができるシェアプログラマを養成するための情報処理教育のあり方について述べる.

(5) オンライン情報処理技術者育成のための教育システムの試みについて

森田 博 (日本教育システム), 渋井二三男 (城西大女子短大・経営)

竹本宜弘 (工学院大電算センター)

〔概要〕 オンライン情報処理技術者育成のためのシステムの構築例について発表する.

(6) 単線型概念形成モデルの CAI への応用 松田浩平 (豊橋短大)

〔概要〕 単線型コースウェアの刺激提示と強化のマイクロプロセスを実験的にモデル化しその応用について考察する.

◆ 第 27 回 ソフトウェア基礎論研究会 } 合同

◆ 第 19 回 プログラミング言語研究会 (発表件数: 12 件)

S F (主査: 佐藤雅彦, 幹事: 柴山悦哉, 田中二郎, 萩野達也)

P L (主査: 斉藤信男, 幹事: 石畑 清, 寛 捷彦, 徳田雄洋)

日 時 昭和 63 年 12 月 9 日 (金) 午前 10 時~午後 5 時半

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

議 題 特集: 並行・分散処理

(1) ハイパーキューブ結合の並列計算機におけるタスクアロケーション手法

堀池 聡 (三菱電機)

〔概要〕 プロセッサがハイパーキューブで結合された並列計算機のタスクアロケーション手法を提案する.

(2) 並列リダクション戦略の実現を目的とするデータフローアーキテクチャについて 國持良行, 関本彰次 (静岡大・工)

〔概要〕 並列計算の効率を向上させ, かつデッドロックを起こさない一定のリダクション戦略をデータフローアーキテクチャを用いて実現することを試みる.

(3) Basic Functions of Parallel Coordinated Problem Solving System : Harmonia

尾内理紀夫 (NTT 通研)

〔概要〕 複数の疎結合コンピュータから構成される並列協調型問題解決システム Harmonia の基本機能について述べる.

(4) 自律分散システムに関する一考察 中島達夫, 所真理雄 (慶大・理工)

〔概要〕 分散システムの特徴としてシステムの自律性があげられる. これを実現するための基本コンポーネントとして Autonomous Object を提案する.

(5) Reflective な Prolog の定式化と意味論 菅野博靖 (富士通)

〔概要〕 Prolog についてリフレクション機能を導入することを試み、その意味論を形式化する。

(6) 失敗集合に基づく並列論理型プログラムの宣言的意味論

村上昌己 (ICOT)

〔概要〕 GHC プログラムの失敗集合を、入出力履歴の概念を基に定義する。

(7) Occam プログラム検証への時相論理の応用

佐藤賢二 (九大・工), 元村直行 (安川電機), 荒木啓二郎 (九大・工)

〔概要〕 Occam プログラムを、簡単な文法を持つ別の並列言語に変換し、時相論理を用いて検証することを試みる。

(8) 型付きラムダ計算による CCS の定式化とその効率のよい実行機構

堀田英一 (NTT 通研)

〔概要〕 Milner の CCS を型付きラムダ計算を用いて、ある種の多ソート代数の拡張として定式化する。またこの体系の効率のよい実行機構について述べる。

(9) プロセス代数型言語「あ」について

戸村 哲, 石川 裕, 二木厚吉 (電総研)

〔概要〕 Milner の交信系計算理論の並列計算モデルに基づくプロセス代数型言語「あ」について述べる。

(10) ソフトウェア開発環境記述用関数型言語の設計と処理系の試作

荻原剛志, 飯田 元 (阪大・基礎工), 新田 稔 (SRA)

井上克郎, 鳥居宏次 (阪大・基礎工)

〔概要〕 ソフトウェアの開発環境を記述するため、代数型仕様に基づく関数型言語を設計し、処理系を試作した。特に開発環境を記述するために必要な機能とその実現方法を中心に述べる。

(11) ジャクソン開発法の形式的記述の詳細化とその実行

稲田良造, 荻原剛志, 井上克郎, 菊野 亨, 鳥居宏次 (阪大・基礎工)

〔概要〕 ジャクソン開発法の代数的仕様からソフトウェア開発環境のための関数型言語への変換およびその実行について述べる。

(12) 自然言語の曖昧構文解析に対する並列処理

安留誠吾, 青江順一 (徳島大・情報工)

〔概要〕 英文の曖昧構文解析を実行する多重スタック LR パージングに対する並列化アルゴリズムを提案する。

※ 今回の研究会は電子情報通信学会 (ソフトウェアサイエンス研究会, コンピューテーション研究会) との共催で開催されます。上記会告は 10 月 20 日現在の申込みによるもので、プログラムは暫定的なものです。上記期日以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌 11 月号に掲載されますので、ご了承ください。

◆ 第 36 回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 川合 慧, 幹事: 中嶋正之, 真名垣昌夫, 守屋慎次)

日 時 昭和 63 年 12 月 9 日 (金) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 6 階 67 号室 (所在地は前記参照)

- 議 題**
- (1) 2眼式立体画像のためのステレオクリッピング
 安居院猛, 山崎龍次, 中島正之 (東工大・像情報)
 〔概要〕 2眼式立体画像の立体感を向上させるステレオクリッピングについて, その手法と視覚的效果を述べる.
- (2) 分子内原子座標値を考慮した化学構造入力 CAD
 安居院猛, 佐藤眞一, 中嶋正之 (東工大・像情報)
 〔概要〕 分子模型のCG表示を作成するシステムの入力部において, 効率よく化学構造を入力する手法について述べる.
- (3) 道路地図の高速スプライン近似表示アルゴリズム
 山路アンゼリカ, 鶴岡信治, 木村文隆, 三宅康二 (三重大・工)
 〔概要〕 直線近似とスプライン近似を併用して任意の縮尺の道路地図を高速表示するアルゴリズムについて報告する.
- (4) ワイヤフレームからソリッドへの一変換手法
 桃井貞美 (長野県情報技術試), 福井幸男 (製品科学研)
 〔概要〕 面の組み合わせに着目して, 穴のあいた形状や曖昧な表現からソリッドを生成する手法について述べる.

◆ 第45回 設計自動化研究会

(発表件数: 13件)

(主査: 平川和之, 幹事: 井上隆秀, 川西 宏, 神戸尚志)

日 時 昭和 63 年 12 月 15 日 (木) 午後 1 時～5 時
 12 月 16 日 (金) 午前 9 時半～午後 4 時半
会 場 機械振興会館 地下 3 階 研修 2 号室 (所在地は前記参照)
議 題 12 月 15 日 13:00～15:40 (4件)

- (1) LSI ディレイテストシステム
 白鳥文彦, 岸田邦明, 石山 俊, 池田光二 (日立)
 坂本頼之 (日立コンピュータエンジニアリング)
 〔概要〕 LSI のディレイ故障を検出するためのテストデータを自動生成するシステムについて述べる.
- (2) 一般回路のスキャン自動変換を目的としたテスト容易化支援プログラム
 西 宏晃, 中沢昌久, 新田 進 (東芝)
 〔概要〕 非同期回路を含む一般回路をスキャンデザイン自動変換するプログラムとその適用結果について述べる.
- (3) MOSFET 論理回路の短絡断線故障シミュレーション
 岩田忠久, 古賀義亮 (防衛大・電気工学)
 〔概要〕 MOSFET 論理回路における, 短絡及び断線故障のスイッチレベルシミュレーションの一方法について発表する.
- (4) ビルディングブロック方式における寸法に制約をもつブロックの配置手法
 出本 浩, 大村道郎, 若林真一, 宮尾淳一, 吉田典可 (広大・工)
 〔概要〕 ビルディングブロック方式の配置設計で, ブロックの寸法に制約を加えた場合の効率の良い配置手法を提案する.

15:50～17:00 (1件)

(5) 特別講演: "Performance Oriented Layout for Sea-of-Gate Design"

E. S. Kuh (Univ. of California, Berkeley)

※ 特別講演終了後、懇親会を企画しております。多くの方々のご出席をお願いいたします。

12月16日 9:30~12:30 (4件)

(6) 正則表現論理シミュレータの実現について

木村晋二, 羽根田博正 (神戸大・工), 矢島脩三 (京大・工)

〔概要〕 論理回路の動作のシミュレーションを, 入力系列の集合に対して行う手法の実現について述べる。

(7) ハードウェア記述言語 CDT とその設計支援への応用

中川圭介 (電通大・情報工学)

〔概要〕 記述言語 CDT の仕様と, CDT で書かれた異なるレベルの記述間の変換を行う設計支援システムについて報告する。

(8) 高速化イベント駆動方式による RTL 機能シミュレーション

水野雅信, 宮坂修二, 井川 智, 宮崎守弘, 五十嵐祥晃 (松下電器)

〔概要〕 RT レベルの機能シミュレーションの高速化を目的として開発したイベント駆動方式のアルゴリズムについて述べる。

(9) 論理合成システム LODES の評価

植田雅彦, 松中雅彦, 角田 学, 西山 保 (松下電器)

〔概要〕 論理合成エキスパートシステム LODES の概要を説明し, 実際の LSI 設計に適用して評価した結果を報告する。

13:30~16:30 (4件)

(10) 制御論理合成の一手法

若林一敏, 吉村 猛 (日電)

〔概要〕 C 及び動作記述言語 BDL からのステートマシン形式の制御論理を合成する手法について述べる。

(11) CMOS 用多段論理回路合成

竹田信弘, 三浦順子, 神戸尚志 (シャープ)

〔概要〕 CMOS 論理回路の特徴を考慮して, CMOS 用論理回路を合成する手法について報告する。

(12) 三段論理回路の一構成法

笹尾 勤 (九工大・情報工), 東田基樹 (阪大・工)

〔概要〕 OR-AND-OR 三段論理回路で, ゲート数をなるべく少なくする方法と, その実験結果を述べる。

(13) PLA の並列分解について

笹尾 勤 (九工大・情報工), 東田基樹 (阪大・工)

〔概要〕 PLA の出力を分割し, 各々の出力を別々の PLA で実現する方法を示す。多数の PLA の分解結果を示す。

※ 今回の研究会は電子情報通信学会(VLSI設計技術研究会)との共催で行います。

◆ ソフトウェア基礎論研究会

今回のソフトウェア基礎論研究会は、電子情報通信学会のソフトウェアサイエンス研究会と共催で以下のとおり開催します。

日 時 昭和 64 年 3 月 10 日

場 所 機械振興会館（予定）

テ ー マ 一般

発表ご希望の方は、学会所定の申し込み用紙に発表題目と 50 字以内の概要等を記入して学会事務局研究会担当までお申し込みください。（発表申し込み締切は 63 年 12 月末日）

◆ 知識工学と人工知能研究会

第 62 回 研究会を昭和 64 年 1 月 12 日（木）に京都大学 工学部 情報工学教室第 2 講義室にて開催いたします。なお場合によっては 11 日（水）にも開催する可能性がありますので、詳細は次号（12 月号）本欄をご覧くださいのうえ、ふるってご参加ください。

◆ コンピュータと教育

第 4 回 研究発表会は昭和 64 年 2 月 25 日、九州工業大学 情報工学部で CAI 学会と共催で開催の予定です。知的 CAI に関する研究発表を主体にしたいと考えています。

◆ 自然言語処理研究会

第 71 回研究会は、昭和 64 年 3 月 17 日（金）に開催予定でしたが、全国大会と重なるため、開催日を 3 月 18 日（土）に変更します。開催場所は予定とおり京都大学です。発表をご希望の方は、発表申し込み用紙に発表題目と発表者名、50 字以内の概要等を記入して、学会事務局研究会担当までお申し込みください。

「UNIX の Shell および UNIX の歴史と展望」

講演会開催について

ワークステーションとともに急速に普及しつつある UNIX について、下記のとおり講演会を IEEE 東京支部 Computer Chapter と共催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

講演者 Susan Rosenbaum (Practical Solutions International, IEEE-CS Tutorial Program 担当, IEEE-CS 理事)

日 時 昭和 63 年 11 月 25 日（金）13：30～16：30

場 所 学士会館分館 6 号室

東京都文京区本郷 7-3-1（東大・赤門横）Tel. 03 (814) 5541

交 通 地下鉄：丸の内線「本郷 3 丁目」下車 4 分

参加費 無料（定員 70 名、先着順）

申込方法 葉書または FAX にて「UNIX 講演会申込み」と記入し、氏名、連絡先を明記のうえ、下記宛て申込みください。

申込先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル

（社）情報処理学会 木村保明 FAX 03 (584) 7925, Tel. 03 (505) 0505

情報技術標準化フォーラム

「日本語処理の統一的取り扱い」開催について

情報技術の分野では、ISO/IEC JTC 1 における国際標準化の重要性が急速に拡大しつつあり、国内外の標準化活動が活発化しております。この国際対応を担当している当学会情報規格調査会 (IPJSJ/ITSCJ) では、進展の著しいテーマについて、「情報技術標準化フォーラム」という統一表題のもと、今後年間数回のフォーラムを開催することを計画しています。

その第一回として、「日本語処理の統一的取り扱い」を取り上げることにいたしました。日本語処理は、コンピュータ利用技術の向上とともに、符号系、言語上の扱い、応用の各面において目覚ましい発展を遂げつつありますが、これらを日本語に閉じた形態ではなく、ISO/IEC JTC 1 におけるマルチオクテット言語処理の標準化に寄与する形で国際標準化を行うことが望まれます。このような国際提案を積極的に行うために、情報規格調査会では「日本語機能専門委員会」を設置しておりますが、今回のフォーラムは最近の国際提案およびそのための調査研究状況を報告し、さらに前進させるための討議を行うことを目的として開催いたします。多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 昭和 63 年 12 月 7 日 (水) 13:00~17:30

場 所 機械振興会館 地下 2 階ホール

主 催 (社)情報処理学会 情報規格調査会 (IPJSJ/ITSCJ)

参 加 費 正会員および規格賛助員社員 6,000 円, 非会員 9,000 円, 学生会員 1,000 円

申込締切 昭和 63 年 11 月 30 日 (水) (定員 200 名になり次第締切らせていただきます)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

13:00~13:10	あいさつ	大桑 邦夫 (研究担当規格役員, 日本電気)
13:10~13:40	総 論	池田 克夫 (京大)
13:40~14:20	符 号 系	和田 英一 (東大)
——休 憩 (14:20~14:30)——		
14:30~15:10	プログラム言語における日本語の扱い	中田 育男 (筑波大)
15:10~15:50	データベース言語における日本語の扱い	芝野 耕司 (日本 IBM)
15:50~16:50	応用における日本語の扱い	斎藤 信男 (慶大)
16:50~17:30	全体討論	

情報技術標準化フォーラム「日本語処理の統一的取り扱い」

参 加 申 込 書

昭和 63 年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記フォーラムの参加を下記によって申し込みます。

○参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員および規格賛助員社員 6,000 円, 非会員 9,000 円, 学生会員 1,000 円

○送 金 方 法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します。(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)

a. 現金書留 送金先: 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号
(社)情報処理学会 情報規格調査会

b. 銀行振込 三菱銀行 虎ノ門公務部 普通預金 0022635
名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号
(社)情報処理学会 情報規格調査会 池田芳之

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書

通

請求先 _____

(注) 申込書は 1 枚 1 人としてしてください (この用紙のコピーで可)

「マルチメディア通信と分散処理シンポジウム」開催について

標記シンポジウムに関して、下記要領でシンポジウムを開催することにいたしましたので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 昭和 63 年 12 月 6 日

場 所 機械振興会館大ホール（地下 2 階）

参 加 費 正会員 6,000 円，非会員 9,000 円，学生会員 1,000 円
（論文集のみ 2,500 円，送料 400 円）

申込締切 昭和 63 年 11 月 22 日（火）（定員 150 名になり次第締切らせていただきます）。

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

あいさつ

主査 松下 温

基調講演（9：00～9：45）

・情報化社会とマルチメディア

野口 正一（東北大）

セッション 1 マルチメディア情報の蓄積と管理技術（9：50～11：30）

座長 山崎 晴明（沖電気）

・マルチメディアデータベースの展望と課題

上林 弥彦，今井 浩，有川 正俊（九 大）

・オブジェクト指向アプローチによるマルチメディア DB の研究動向

佐藤 和洋（日 立）

・画像情報の蓄積と利用

佐藤真知子（日本 IBM）

—— 昼 食（11：30～12：30）——

セッション 2 マルチメディア通信技術（12：30～14：00）

座長 浦野 義頼（KDD）

・ISDN の現状と将来

大西 広一（NTT）

・IVDLAN によるマルチメディア通信

小倉 敏行（日 電）

・マルチメディアメールシステムの動向

山口 勝好（富士通）

—— 休 憩（14：00～14：15）——

セッション 3 ワークステーションとマルチメディア統合化技術（14：15～16：15）

座長 若山 博文（NTT）

・テレマティークサービスとマルチメディア W.S.

蓮池 和夫（KDD）

・図形/画像処理 W.S.

大宅伊久雄（沖電気）

・W.S. における文書処理

坂下 善彦（三 菱）

・ISDN 端末

谷野 枉雄（東 芝）

「マルチメディア通信と分散処理」シンポジウム

参 加 申 込 書

昭和 63 年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます.

○参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 6,000 円 非会員 9,000 円 学生会員 1,000 円

○論 文 集 の み (2,500 円, 送料 400 円) 冊

○送 金 方 法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム 係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945	富 士 銀 行 虎 ノ 門 支 店 993632
三菱銀行虎ノ門公務部 0000608	三 井 銀 行 本 店 4298739
住友銀行東京公務部 10899	三和銀行虎ノ門東京公務部 21409
名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会	

請求書類の必要な方はお申出ください.

(No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

注) 申込書は 1 枚 1 人としてください (この用紙のコピーで可).

学会誌送本先の住所等の変更届について (お願い)

勤務先, 自宅住所に異動のある方は, 必ず所定の「変更連絡届」用紙 (前号末尾に添付) にて氏名, 会員番号を付し, 早速にご連絡ください. 異動の受付は毎月 20 日締切り, 翌月号から変更となります. 21 日以降受付分の変更は翌々月号からとなりますのでご注意ください.

「アドバンストデータベースシステムシンポジウム」 開催について

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募いただきありがとうございました。論文審査の結果、10月号本欄でお知らせしましたとおり、下記要領でシンポジウムを開催いたします。多数の方々のご参加をお願いいたします。

本年度は、「データベースシステムの新たな展開—新しいモデルと高速化—」のテーマで、モデル論・高速化技法・マシン・応用技術などをとおして今後のデータベースの動向について議論を深めることとします。

日 時 昭和63年12月8日(木)～9日(金) 9:00～17:00

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

参 加 費 会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 1,500 円
(論文集のみ 3,000 円, 送料 400 円)

申込締切 昭和63年11月25日(金)(定員150名になり次第、締め切ります)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

1 日目

開会挨拶 (9:00～9:10)

基調講演 (9:10～10:10)

- データベースシステム研究の今後の動向 牧之内 顕文 (富士通研)

招待講演 (10:20～11:20)

司会 遠山 元道 (慶大)

- ソフトウェア工学のためのデータベース 片山 卓也 (東工大)

セッション1 モデル1 (11:30～12:40)

座長 国井 秀子 (リコー)

- インテリジェント・パッド 田中 譲, 今滝 隆元 (北大)

- 集約ホーン論理と形式意味論 三浦 孝夫 (産能大), 塩谷 勇 (東京電機大)

—— 昼 食 (12:40～13:50) ——

セッション2 モデル2 (13:50～15:00)

座長 大里 博志 (富士通)

- オブジェクト指向リレーショナル・データベース ADAM における類似検索機能

宇田川佳久, 辻 秀一, 市川 照久 (三菱)

- 不動産登記データベースに関する一考察 戈 宝明, 穂鷹 良介 (筑波大)

セッション3 サーベイ (15:15～17:00)

座長 鈴木 健司 (NTT)

- 第4世代言語の現状と将来 池田 秀人 (広島大)

- マルチメディアデータベースシステムの現状と課題 打浪 清一 (九工大)

- CAD データベースの動向 大保 信夫 (筑波大)

2 日目

招待講演 (9:00～10:00)

司会 洪 政国 (日本 IBM)

- 電子計算機相互運用データベースシステムの研究開発について

岩松 聰 (情報処理相互運用技術協会)

セッション4 高性能処理 (10:15～12:15)

座長 清木 康 (筑波大)

- 機能ディスクシステム第2版における関係代数演算処理方式とその評価

中野美由紀, 平野 聡, 喜連川 優, 高木 幹雄 (東大)

- データベースシステムにおける先読みスケジューラの並行処理性能について

谷口 伸一 (滋賀大), 西尾章治郎 (阪大), 茨木 俊秀 (京大)

- 大規模 DB/DC の高性能・高信頼化方式の考察

新田 淳, 米田 茂, 山本 章治, 村川 哲夫 (日立)

- データベースおよび知識ベースを対象としたストリーム指向型並列処理系の共有メモリ・マシン上への実現

新城 靖, 清木 康, 劉 澎 (筑波大), 益田 隆司 (東大)

——昼 食 (12:15~13:15)——

セッション5 インタフェース・応用 (13:15~14:45) 座長 佐藤 和洋 (日立)

- データベースのユーザフレンドリインタフェース MELQUERY

金森 卓郎, 中川路のぞみ, 和田 雄次, 石田 喬也 (三菱)

- リレーショナルデータベースの間合せ処理におけるユーザインタフェースシステムについて

河村 一樹 (日本電子専門学校)

- 仕様書ベースでのデータベースインタフェース

坂本 善博 (富士通)

パネル討論 「データベース高速処理」 (15:00~17:00) 司会 清木 康 (筑波大)

「アドバンスデータベースシステム」シンポジウム

参 加 申 込 書

昭和 63 年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

- 参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 1,500 円

- 論 文 集 の み (3,000 円, 送料 400 円) 冊

- 送 金 方 法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)

- a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

- b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945	富士銀行虎ノ門支店 993632
三菱銀行虎ノ門公務部 0000608	三井銀行本店 4298739
住友銀行東京公務部 10899	三和銀行虎ノ門東京公務部 21409
名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会	

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

(注) 申込書は 1 枚 1 人としてください (この用紙のコピーで可)。

「1989 情報学シンポジウム」開催について

6月号本欄でお知らせいたしました標記のシンポジウムを行います、定員に制限がありますので早目にお申し込みください。

日 時 1989年1月17日(火)～18日(水) 9:30～17:00

場 所 日本学術会議講堂(地下鉄千代田線乃木坂駅下車)

参 加 費 無 料

資 料 代 共催学協会会員 5,000円 学生 1,500円 一般 7,000円

申込締切 昭和63年12月20日(当日受付もあるが資料不足の場合は事前登録者を優先する)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 1月17日(火)

基調講演(9:30～10:30) 司会 藤原 譲(筑波大)

- 科学技術情報と国際コミュニケーション 下邨 昭三(日本科学技術情報センター)

特別講演1(10:40～11:40) 司会 根岸 正光(学情センター)

- 経営/投資情報データベースの現状と将来 (交渉中)

セッション1 時間依存の情報の取り扱い(11:40～12:40) 座長 吉田 郁三(日立)

- 培養生物に関するデータセンター運営に関する問題点

菅原 秀明, 鶴川 義弘, 駒形 和男(理研)

- 原子炉圧力容器網の疲労亀裂成長挙動評価のためのデータベース構築

中島 甫, 横山 憲夫(原研), 庄子 哲雄(東北大)

特別講演2(13:30～14:30) 司会 石塚 英弘(図書館情報大)

- 特許情報における最近の諸問題 長野 雄治((財)日本特許情報機構)

セッション2 新しい技術, その基礎と応用(14:45～17:00)

座長 岩野 和生(日本IBM), 本位田真一(東芝)

- 代数的仕様記述と図式仕様記述の相補的役割について一複眼的システムモデル

古川 忠始, 澤田淳一郎, 本位田真一(東芝)

- 音声, 動面を含むハイパーメディア作成支援システム

小川 隆一, 佐原 信幸, 金子 朝男(日電)

(15分休憩)

- 化学文献情報データベースの知識ベースシステム設計と試作

石塚 英弘, 王 忠清, 山本 毅雄(図書館情報大)

- 科学技術用語集に基づくシソーラスの自動作成

藤原 譲, 李 元揆, 張 曉冬, 北川 博之, 大保 信夫(筑波大)

第2日 1月18日(水)

特別講演3(9:30～10:30) 司会 岩田 修一(東大)

- 新しい発想と情報 村上陽一郎(東大)

セッション3 発想, 情報の創生(10:45～11:45) 座長 尹 博道(富士通)

- 人間と計算機の融合による創造情報処理

- 山口 徹郎 (熊本県工業技術センター), 青山 宏, 河越 正弘 (電総研)
- コンピュータシステムの知的統合対話系の設計 松田 孝子 (東北大)
- 特別講演 4 (12:50~13:50) 司会 吉野 正敏 (筑波大)
- 地理情報の処理 野上 道男 (都立大)
- セッション 4 情報の抽出—地理, 歴史情報の場合 (14:00~15:30)
- 座長 澤田 順夫 (東芝)
- 歴史的現象データの基本構造に関する研究—地理的空間データの問題 八重樫純樹 (国立歴史民俗博物館)
 - 人口誌研究支援「宗門改帳」データベース開発 川口 洋, 中山 和彦 (筑波大)
 - 文献情報データベースの日本語キーワード自動抽出ソフトに関する問題点 戸祭由美夫 (奈良女大)
 - 地理学文献情報データベースを例として—
- 特別講演 5 (15:45~16:45) 司会 有川 節夫 (九大)
- テキストデータベースについて 樋口 忠治 (九大)
- 総括 (16:45~17:00) 藤原 鎮男 (神奈川大)

「1989 情報学」シンポジウム

参 加 申 込 書

昭和 63 年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○資 料 代 (該当するものを○印でかこむ)

会員 5,000 円 一般 7,000 円 学生 1,500 円

○論 文 集 の み (上記資料代プラス 300 円) 冊

○送 金 方 法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留 (送金先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899

三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

請求書

通, 見積書

通, 納品書

通

(No. _____)

請求先 _____

(注) 申込書は 1 枚 1 人としてください (この用紙のコピーで可)。

「第 30 回 プログラミング・シンポジウム」開催のお知らせ

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたしますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書（前号本欄に掲載）に記入のうえ、お申し込みください。本シンポジウムの趣旨から、「情報処理分野で多くの経験のある方、またこれに強い関心を持ち積極的に勉強されている若い新鮮な方で、特にシンポジウムにおいて有益な形で討議に参加しようという意欲のある」多数の方々の参加を希望します。

記

日 時 1989 年 1 月 10 日（火）午後 1 時～12 日（木）午後 1 時
場 所 箱根ホテル小涌園（神奈川県足柄下郡箱根町二の平 1297）Tel. 0460 (2) 4111
参 加 費 （予稿集代、宿泊費を含む。カッコ内は非会員参加費）
☆大学院学生 23,000 円（26,000 円）
☆大学助手以上、研究所関係者 30,000 円（35,000 円）
☆会社関係者 35,000 円（40,000 円）
申込締切 1988 年 11 月 30 日（水）
（申し込みの詳細につきましては、前号本欄をご参照ください）

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第 1 日 1 月 10 日（火）

- 開会の辞 (13:00～13:20) 米田委員長
セッション 1 (13:20～14:40)
・PIT: Prolog 上での Graphics Editor 用 ICON 作成支援ツールについて 萩原 規子（日電）
・視覚的プログラミング・システム 小島 啓二、松田 芳樹（日立）
——休憩 (14:40～15:10)——
セッション 2 (15:10～16:30)
・手作り計算機実習室の手作り CCTV—計算機教育用映像システムの構築— 和田 勉（長野大）、堀内 一夫（第一無線）
・スーパーコンピュータ、UNIX、ワークステーション—東工大の計算機環境はどうなったか— 前野 年紀、松田 裕幸、太田 昌孝、大野 浩之（東工大）
——休憩 (16:30～16:50)——
セッション 3 (16:50～17:30)
・NTT—Internet 構築の経験と実際 村上健一郎、天海 良治（NTT）
——夕食 (18:00～19:00)——

○自由討論、マイコンデモ

第 2 日 1 月 11 日（水）

- セッション 4 (9:00～10:20)
・大きな数字を書く：ただそれだけのアルゴリズムと知られざる戦い 高橋 俊成（東芝）
・電気利用コンサルテーションシステムの開発 寺野 隆雄、鈴木 道夫、

小野田 崇（電力中研），上西 勝也，松浦 敏之，中村 修（関西電力）

——休 憩（10：20～10：40）——

セッション5（10：40～12：00）

- ・自動カスタマイズ構造エディタについて 高田 裕志，榊原 康文（富士通）
- ・Lisp ウィンドウ（またはS ウィンドウ） 和田 英一（東大）

——昼 食（12：00～13：00）——

★招待講演（13：00～14：00）

「コンピュータと私—TAC から H 8800 まで—」 村田 健郎（図書館情報大）

——休 憩（14：00～14：20）——

セッション6（14：20～15：40）

- ・窓はねずみ無しでも操れるか？ 久野 靖（東工大），角田 博保（電通大）
- ・Xウィンドウ上のマルチメディア・ユーザインタフェース構築環境

暦本 純一，菅井 勝，秋口 忠三（日電）

——休 憩（15：40～16：00）——

セッション7（16：00～17：20）

- ・マルチプロセッサにおけるプロセスの「からだ」と「たましい」の管理

永松 礼夫（東大）

- ・コンパイラにおける意味処理の並列化

西山 博康，板野 肯三（筑波大）

★報告（17：20～17：40）

- ・夏のシンポジウム，若手の会，GPCC，山内賞の報告

——夕 食（18：00～19：00）——

○自由討論，マイコンデモ

第3日 1月12日（木）

セッション8（9：00～10：20）

- ・階層的分散プログラムの設計支援システム

内平 直志（東芝）

- ・オブジェクト指向における再利用のための構成支援環境について

片山 佳則（富士通）

——休 憩（10：20～10：40）——

セッション9（10：40～12：00）

- ・プログラミング言語 TIPE/L の型機構

高田 広章（東大）

- ・軌跡準同型によるプログラムの仕様の保存性

水谷 哲也（筑波大）

○閉会の辞（12：00～12：10）

米田委員長

※自由討論，ポスターセッション，マイコンデモ等を予定しています。参加ご希望の方はご用意ください。

※一般講演は，発表 25 分，討論 15 分，また招待講演は講演 45 分，質問 15 分を予定しています。

なお，日程については若干の変更があるかもしれません。

支 部 だ よ り

中 部 支 部

見 学 会

- 日 時** 昭和 63 年 11 月 22 日 (火) 13 : 30 ~ 16 : 30
- 見 学 先** 日本電装(株)幸田製作所 (愛知県額田郡幸田町大字芦谷字丸山 5)
13 : 30 ~ 14 : 20 会社概況説明, 映画上映
14 : 20 ~ 15 : 00 講演「カーエレクトロニクスの概要」
15 : 00 ~ 16 : 00 工場見学 (モノリシック IC 全自動生産ライン, エンジン制御
コンピュータライン)
16 : 00 ~ 16 : 30 質疑応答
- 交 通** 東海道本線幸田駅下車 幸田駅・幸田製作所間送迎バス (迎え 13 : 10 頃, 送り
16 : 40 頃)
- 参 加 費** 無 料 定員 60 名 (先着順)
- 申込方法** はがきに「日本電装見学会申込」と記入し, 氏名, 所属, 連絡先を明記のうえ,
下記あて送付する。
- 問合せ先** 464-01 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部情報工学教室内
情報処理学会中部支部 Tel. 052 (781) 5111 (内 5803, 3309)

講 演 会

- 日 時** 昭和 63 年 11 月 25 日 (金) 13 : 30 ~ 15 : 00
- 場 所** 石川県地場産業振興センター 第 2 研修室 (金沢市戸水町口 1 石川県工業試験場
隣り)
- 演 題** 知能ロボット (画像処理を中心として) 白井 良明 (阪 大)
- 参 加 費** 無 料 (参加資格は問いません)
- 問合せ先** 石川県工業試験場機械電子部 中野幸一 Tel. 0762 (67) 2163

講 演 会

- 日 時** 昭和 64 年 2 月 17 日 (金) 13 : 15 ~ 15 : 00
- 場 所** 富山大学工学部 (富山市五福 3190)
- 演 題** 新形態プログラミング 二木 厚吉 (電総研)
- 参 加 費** 無 料 (参加資格は問いません)
- 問合せ先** 富山大学工学部電子工学科 米田政明 Tel. 0764 (41) 1271

63 年度会費および論文誌・欧文誌購読費の 納入にご協力ください

来る 11 月下旬に、本年度会費未納の方には、郵便振替用紙によって、標記のお願いをいたします。ご承知のとおり、会費は前納制（すでに多くの方がたは納入済みです）ですし、会費納入の催促は手数や郵便料がかさみ、大きな負担となっております。事情をお察しのうえ、早急にご納入くださいますよう、よろしくお願いします。

〔預金口座自動振替の会員へ〕

これまでに振替未済の方は 12 月 27 日に振替ますので、その前には預金残高を確認いただき、振替額不足にならぬようご留意ください。振替額は会費および購読費に収入印紙代および振替手数料（計 270 円）を加算した金額です。振替された場合には、預金通帳の摘要欄に「ダイヤモンドファクター」または「コウザフリカエ」と印字されますのでご確認ください。

なお、今回振替未済となった場合には、明年 1 月から学会誌、購読誌の送付をストップいたします。また、ストップした学会誌、購読誌はその後会費等を納入されても配布を受けられないことがありますので、ご承知ください。

本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内*

第 4 回 ESR 応用計測研究会研究発表・講演会

「ESR で何が判るか—画像化 (MRI) の時代へ—」

昭和 63 年 11 月 30 日 (水)

東京・野口英世記念会館

講習会「ニューロコンピュータとは何か—その原理を知り応用を探り将来について語る—」

昭和 63 年 12 月 7 日 (水)

東京・光陽社ビルディング講堂

第 2 回 シグナル・システム・コントロール (SSC) シンポジウム

昭和 64 年 1 月 24 日 (火)～25 日 (水)

大阪市立労働会館

第 5 回 ソフトウェアコンファレンス

昭和 64 年 3 月 9 日 (木)

(財)大阪科学技術センター

第 6 回「センシングフォーラム」

昭和 64 年 4 月 4 日 (火)～5 日 (水)

東京・学士会館本館

*詳細は本号会議案内欄参照